1	1 事業概要			進行管理表(事務事業計画・予算管理) 						課等N 会計		事業No.	93
事務事業名			緊急	急通幸	服装置	・火災警報設	置事業		事業区		実施区分	 継続	
	担当課等名			長寿支援課						開始		終了	
	Ė	主要区分		主	į	記号	計画等名称						
	単	战略計画											
	т.	72-001 E											
艮		分野別計画			高	鹷者福	祉計画						
拠	分 												
					飯田市緊急通報システム運営事業実施要綱								
	法令		飯	田市高	齢者等火災警	報器設置	事業実施要終	H					
			_ د	.4		1 # > 1			******	-#=A -+> 111 ++			
事業目的			·象 ——										
			意	図	図 通報により緊急時に支援を求めることができるため、独居高齢者等が安全に暮らせる。火災警報器の設置により、火災の発生を本人及び近隣に知らせ、地域で支え合う体制を整える。								
2 事	<b>事業内</b>	容											
			, _				置事業についてない世帯が増え					員の確保が難しい状	況です。また、
		きを進る 課題認									りまり。 置希望は減少して	います。	
		来超战 度評価											
							田山山土京				な帯へ	<b>中</b> 京	古光典/イロ
		取組内容 緊急通報装置設置事業では、本体とペンダン します。急病等の緊急時にボタンを押すと受 、あらかじめ指定した近隣の協力員が駆け付 火災警報器設置事業では、機器を給付・設置						受信センターが受信し		竪急涌	経費の 限体制整備事業	事業費(千円) 5,249	
										火災警報器設置事業			247
									けて対応をします。 <del>┌────────────────────────────────────</del>				
30年度 取組		心して在宅生活が継続できるようにします。							-0.7.2				
									平成29年	その他の	D経費 平成30年度	平成31年度	
		指	標名	(娄	(数値で表せる活動量)			単位	計画	一区	計画	計画	<u></u>
		<b>緊急</b> i			置設置世帯件数(既存)			件		000			
										280	250		
動	指標						(新規)	件		10	10		
動	指標												
手動	指標												
5動	指標	火災	<b>警報</b>	<b>器</b> 设置	<b>重世</b> 帯	<b>持件数</b>	(新規)			10	10	<b>北</b> 中軍 百	
舌動	指標		警報器 の状況	<b>器設置</b> 记(千	<b>重世</b> 帯	<b>持件数</b>	(新規)	件	通報システム	10			
		火災 財源の 事業	警報器 の状況	器設置 元(千 十	置世帯	<b>持件数</b>	(新規)	件	通報システム	10	10 対源内訳及び		
304	年度	火災警 財源( 事業)	警報器 の状況 事 言 果支と	器設置 で(千 十 支出: 出金	置世帯	<b>持件数</b>	(新規) 当初予算額 5,496 0	件	通報システ <i>1</i>	10	10 対源内訳及び		
30 <sup>4</sup>		火災警 財源( 事業]	警報 割り 対	配(千十七出金	置世帯	<b>持件数</b>	(新規) <u>当初予算額</u> 5,496 0 0	件	通報システク	10	10 対源内訳及び		
30 <sup>4</sup>	年度	火災警 財源( 事業]	を報える の状況 事事を はたのの	記(千 十 七 七 七 七 七 七 七 七	置世帯	<b>持件数</b>	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 0 1,116	件	通報システ <i>1</i>	10	10 対源内訳及び		
 30 <sup>红</sup> 予	丰度 '算	火災 財源(3 事業]	を報える を報える を表する。 をままる。 をまる。 をままる。 をままる。 をままる。 をままる。 を。 をもる。 をも。 をもる。 をも。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 をもる。 を。	記代十 世出	円)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(新規) <u>当初予算額</u> 5,496 0 0	件	通報システム	10	10 対源内訳及び		
30年	手度 ·算 「暴事」 「会	火災 財源の 事業 「「」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	警報記 が記 車支 地 での代 一般す	記代千十支出金 しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	置世帯 円) 金	持件数 	(新規) <u>当初予算額</u> 5,496 0 0 1,116 4,380 <u>当初予算額</u>	件	通報システク	10	10 E <b>財源内訳及び</b> 負担金 1,116千F	9	
30年3	手度 算 系 子 会 計	火災 財源の 事業 単	警報 おおおお おおお は は は は は は は は は は は は は は は	記録 記	四)金	持件数 	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 1,116 4,380 当初予算額 現計予算額	(そ)緊急		10 特玩 公利用者如	10 対源内訳及び	9	
30年3	手度 ·算 「暴事」 「会	火災 財源の 事業 「「」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	警報記 が記 車支 地 での代 一般す	記代千十支出金 しゅうしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	置世帯 円) 金	持件数 	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 1,116 4,380 当初予算額 現計予算額 5,249 0	(そ)緊急	通報システム	10 特玩 公利用者如	10 E <b>財源内訳及び</b> 負担金 1,116千F	9	
30 <sup>分</sup> 予 <u>3</u> <u>3</u> <u>3</u>	手度 算 系 子 会 計	火災 財源の 事業 単	警報 おおおお おおお は は は は は は は は は は は は は は は	記録 記	四)金	持件数 	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 1,116 4,380 当初予算額 現計予算額 5,249	(そ)緊急		10 特元 4利用者分	10 E <b>財源内訳及び</b> 負担金 1,116千F	9	
30年 3 番号 1 2 一	手度 算	火災 財源の ままま ままま まままま まままま まままま まままままままままままま	警報記 の計画車を が言いましたのの ののがする。 はは、 ののでは、 のでは、	記録 ここの 日 4	置世帯 門) 金	計件数	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 1,116 4,380 当初予算額 現計予算額 5,249 0 247	(そ)緊急	<b>装置設置事</b> 簿	10 特元 4利用者分	10 E <b>財源内訳及び</b> 負担金 1,116千F	9	
30年 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	手度 算	火災 財源の ままま ままま まままま まままま まままま まままままままままままま	警報記 の計画車を が言いましたのの ののがする。 はは、 ののでは、 のでは、	記録 ここの 日 4	置世帯 門) 金	計件数	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 1,116 4,380 当初予算額 現計予算額 5,249 0 247	(そ)緊急	<b>装置設置事</b> 簿	10 特元 4利用者分	10 E <b>財源内訳及び</b> 負担金 1,116千F	9	
304 予	手度 算	火災 財源の ままま ままま まままま まままま まままま まままままままままままま	警報記 の計画車を が言いましたのの ののがする。 はは、 ののでは、 のでは、	記録 ここの 日 4	置世帯 門) 金	計件数	(新規) 当初予算額 5,496 0 0 1,116 4,380 当初予算額 現計予算額 5,249 0 247	(そ)緊急	<b>装置設置事</b> 簿	10 特元 4利用者分	10 E <b>財源内訳及び</b> 負担金 1,116千F	9	